

国道植栽の歴史

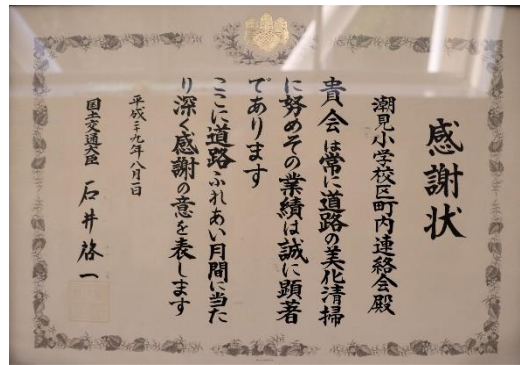
本校の特色ある活動でもある「国道植栽」の歴史をひも解いてみましょう。平成 17 年に始まり、平成 18 年 5 月には、正式に国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所と潮見小学校区町内連絡会が「ボランティア長崎協定書」を締結しています。これが、現在まで続いている基になっています。

この協定書には、実施団体（潮見小学校区町内連絡会）は、定めた区域の緑化、清掃作業等を行うとされています。一方、長崎河川国道事務所は、清掃用具を支給（貸与）し、実施区域に実施団体（潮見小学校区町内連絡会）を表示するサインボードを設置するとしています。

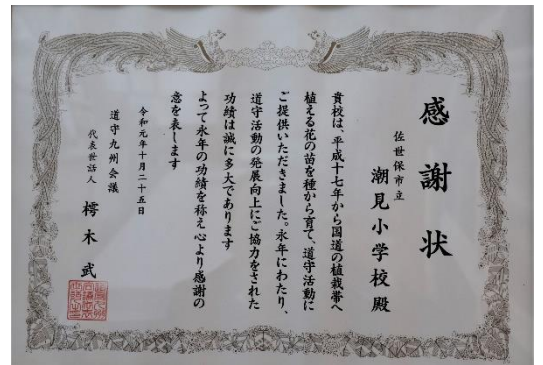
この 18 年間で、地域の方々や長崎河川国道事務所（国交省）の協力を得ながら、活動を続けられたことは、本校の自慢の一つだし、このことで、たくさんの表彰を受けています。平成 24 年には、国土交通行政功労表彰、平成 29 年には、国土交通大臣より、長年の美化清掃に対する感謝状を、また、令和元年には、みちづくし in 佐世保 2019 において潮見小学校が感謝状をいただきました。これからもできるだけ長く続けていきたいと考えています。



H24 国土交通行政功労表彰



H29 国土交通大臣 感謝状



R1 道守九州会議 感謝状



令和 4 年度 春の国道植栽の様子